

コード	20401
作成年度	24年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進
--------	-----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	暮らしを支える水道の整備

課コード	114	関係課名	
主管課名	水道課		

## 基本事業の目的

水道は、住民の健康で快適な生活を支えるライフラインとして、また企業などの経済活動を支える社会基盤として、いつでもどこでも、安心安全な水道水を安定的にかつ低廉な価格で供給することを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	供給単価	成果指標名称 2	有収率					
成果指標の積算根拠	供給単価実績÷目標供給単価	成果指標の積算根拠	有収率実績÷目標有収率					
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度					
目標達成数値	230.0円	目標達成数値	90.0%					
年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
成果指標 1	目標 A	単位	円	230	230	230	230	230
	実績 B		円	230	239	241	243	
	達成率 B/A		%	100.2	104.0	104.8	105.6	
成果指標 2	目標 A	単位	%	90	90	90	90	90
	実績 B		%	74	80	78	79	
	達成率 B/A		%	81.8	88.9	86.6	88.0	

1次評価	現状	既存の水道施設は、老朽化により更新時期を迎えることが多いことから、漏水対策を行ってもなかなか有収率の向上が図れない。本庁と支所間の距離、水道情報装置等の整備により、本庁一括管理が図れない。
	課題	水道基幹施設の老朽化による更新及び施設の統廃合、高度な水質を保つための施設整備が必要であり、今後も設備投資を要する。平成28年度までに企業会計へ移行し、独立採算を基本としなければならないが、更なる受益者負担を招くため、組織の見直しを含めた計画的かつ慎重な準備を要する。
	改善	早期に本庁一括管理とし、積極的に施設の統廃合や組織機構の見直しを計画的に行い、より一層の合理化・効率化を図りながら、更なる給水コストの縮減を図る。
2次評価	町民のライフラインである水道施設の維持・管理は適正に行うこと。また、基盤整備においては、ローコストを念頭に計画的に実施し、運営においては、給水原価を下げる施策を検討し、水道経営の安定化、効率的かつ有効的な水道経営に努めること。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	204010108	新魚目南部地区簡易水道改良事業	水道課	165,946千円	(途中) このまま事業を継続
2	204010109	奈良尾地区統合簡易水道整備事業	水道課	139,044千円	(途中) このまま事業を継続
3	204010110	上五島南部地区統合簡易水道整備事業	水道課	20,780千円	(途中) このまま事業を継続
4	204010111	簡易水道事業資産評価業務委託事業	水道課	7,560千円	(途中) このまま事業を継続
5	204010115	有川地区統合簡易水道整備事業基本 計画策定事業	水道課	12,288千円	(事後) 平成23年度で事業完了
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				345,618千円	